国　語

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
古典探究	２単位	普通科（Ｉ類）	３年

教 科 書	高等学校　標準古典探究 （第一学習社）	副 教 材	カラー版　新国語便覧（第一学習社）

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	漢文　諸家の思想　「孟子」「韓非子」 古文　日記　「門出」「源氏の五十余巻」 古文　日記　「日本紀の御局」 漢文　説話　「不顧後患」	・文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・助動詞や句形など、文法に関する知識を増やす。
２学期	古文　説話　「わらしべ長者」 漢文　名家の文章　「油売翁」 古文　物語　「弓争ひ」 漢文　諸家の思想　「老子」「荘子」 古文　評論　「無名草子」	・登場人物の行動とそれを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現を評価する。
３学期	古文　評論　「玉勝間」	・批評した文章を読んで、歴史の伝承に触れる。 ・和歌に関する多様な考え方に触れ、和歌の評価基準を理解する。
備考（学習のポイント）	１　多様なジャンルの文章を読み、書き手の意図や情景、心情の描写を考え、表現を味わおう。 ２　ものの見方や考え方を深め、言葉をとおして他者とつながる意識を養おう。 ３　話し合い活動をとおして伝え合う力を高め、自分の言葉で自分を表現できるようにしよう。 ４　語句の意味や用法について知識を習得し、自分の表現に役立てよう。	

評価規準		
	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。 ○　定期考査　…　Ⅰ・Ⅱ　の観点 ○　ノート内容　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業成果物（レポート、感想文、提出物等）　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業態度（真面目な態度、積極的な取組）　…　Ⅲ　の観点

国　語

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
文学国語	２単位	普通科（Ⅰ・Ⅱ型）	３年

教 科 書	高等学校　文学国語 （第一学習社）	副 教 材	新総合　図説国語（東京書籍）

科目の目標	⑴　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ⑵　深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ⑶　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	近代の小説Ⅰ　「枯野抄」 戦争と文学　「夏の花」 創作Ⅰ　詩の創作と鑑賞	多角的な視点から文章を読解し、作品の多様な価値を捉える力を磨く。
２学期	海外の文学　「変身」 近代の小説Ⅱ　「舞姫」 創作Ⅱ　物語の創作と鑑賞	作品や作者の背景をふまえて作品を鑑賞する力を磨き、創造性を養う。
３学期	表現　朗読劇　「舞姫」	表現を通して作品を解釈し、深く読解する力を養う。
備考（学習のポイント）	１　復習を必ず行うこと。板書を見ながら今日の授業を頭の中で再現すること。 ２　国語の学習において、要約と説明は鍵である。文章の要点を説明し、また本文を要約して、学習内容の定着を図ること。 ３　知らないことは考えられない。積極的に読書し、自分の知見を広げること。	

評価規準	知識・技能	文学の価値に気づき、多様な表現の価値を理解した上で、生涯の社会生活に必要な国語の語彙や文法的な知識を身に付けている
	思考・判断・表現	多角的な視点から考え、他者との関わりの中で自分の感性を磨き、自分の意見と他者の意見の相違を俯瞰した上で、効果的に自分の意見や想いを伝え合うことができる。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、学習内容を積極的に吸収し、自分自身を成長させようとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。 ○　定期考査　…　Ⅰ・Ⅱ　の観点 ○　ノート内容　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業成果物（レポート、感想文、提出物等）　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業態度（真面目な態度、積極的な取組）　…　Ⅲ　の観点

国　語

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
論理国語	２単位	普通科（Ⅰ・Ⅱ型）	３年

教 科 書	論理国語（大修館書店）	副 教 材	カラー版　新国語便覧（第一学習社）

科目の目標	⑴　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ⑵　論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ⑶　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	学　習　項　目		学 習 の ね ら い
１学期	評論Ⅰ 評論Ⅱ 評論Ⅲ 評論Ⅳ	「「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ」 「「である」ことと「する」こと」 「日常に走る亀裂」 「無常ということ」	話題と主張を適切に捉え、自分の考えを論理的に表現する力を養う。
２学期	評論Ⅴ 評論Ⅵ 評論Ⅶ 評論Ⅷ 評論Ⅸ	「日本文化の三つの時間」 「リスク社会としての現代」 「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」 「消費されるスポーツ」 「人を指す言葉」	論の展開と主張を適切に捉え、指定された字数で自分の考えをまとめる力を養う。
３学期	評論Ⅹ	「猫は後悔するか」	筆者の論理を適切に捉え、自分の考えを指定された字数でまとめる力を養う。
備考（学習のポイント）	１　復習を必ず行うこと。板書を見ながら今日の授業を頭の中で再現すること。 ２　国語の学習において、要約と説明は鍵である。文章の要点を説明し、また本文を要約して、学習内容の定着を図ること。 ３　知らないことは考えられない。積極的に読書し、自分の知見を広げること。		

評価規準	知識・技能	実社会に出て必要となる国語の語彙や文法的な知識などを身に付け、情報を論理的に分析できる。
	思考・判断・表現	論理的、批判的に考え、より論理的な表現を検討することができる。また、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを論理的に展開し、明快に主張を述べることができる。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、学習内容を積極的に吸収し、自分自身を成長させようとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。 ○　定期考査　…　Ⅰ・Ⅱ　の観点 ○　ノート内容　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業成果物（レポート、感想文、提出物等）　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業態度（真面目な態度、積極的な取組）　…　Ⅲ　の観点

公 民

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
政治・経済	３単位	普通科（ＩＢ型）	３年

教 科 書	高等学校 政治･経済（第一学習社）	副 教 材	政治･経済資料 2026（東京法令出版）

科目の目標	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
１学期	第１編　現代日本の政治・経済の諸課題 第１章　現代日本の政治・経済 第１節　日本国憲法と現代政治のあり方 第２節　望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 第３節　市場経済の機能と限界 第２章　現代日本の諸課題の探究	・民主政治の本質を把握し、政治と私たちとの関わりについて理解する。
２学期	第１章　現代日本の政治・経済 第４節　持続可能な財政および租税のあり方 第５節　金融を通した経済活動の活性化 第６節　経済活動と福祉の向上 第２編　グローバル化する国際社会の諸課題 第１章　現代の国際政治・経済 第１節　国際法の果たす役割 第２節　国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 第３節　相互依存関係が深まる国際経済の特質 第４節　国際経済において求められる日本の役割 第２章　国際社会の諸課題の探究	・現代経済の特質について理解する。 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。
３学期	演習	・現代社会の諸課題について、望ましい解決のあり方を考える。
備考（学習のポイント）	１　教科書をよく読み、図版（グラフ･表･写真等）も読み取る力を身に付けよう。 ２　新聞、ニュース等で、政治･経済の動向に関心を持とう。 ３　毎時、政治･経済ノートで、授業で学習した用語の理解を確認するなど復習をしよう。 ４　積極的に問題演習にも取り組み、自主的に受験対策を進めていこう。	

評価規準	知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
	思考・判断・表現	現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

定 期 考 査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ファイル提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　授業態度（意欲的な態度、積極的な発表） ○　課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題） ○　定期考査（適切で計画的な学習の成果）

地理歴史

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
地理探究	４単位	普通科（Ｉ型）	３年

教 科 書	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	副 教 材	新編地理資料（東京法令出版）

科目の目標	地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、国際社会に主体的に生きる資質・能力を養う。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	交通・通信と観光、貿易 １ 交通・通信　２ 観光　３ 貿易と経済圏 人口、村落・都市 １ 人口　２ 人口問題　３ 村落と都市　４ 都市・居住問題 生活文化、民族・宗教 １ 衣食住　２ 民族・宗教と民族問題　３ 国家の領域と領土問題 現代世界の地域区分 １ 地域区分 現代世界の諸地域 序 地域の考察方法　１ 中国	・交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組について理解する。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究する。 ・民族・宗教に関わる課題について考察する。
２学期	２ 韓国　３ ASEAN 諸国　４ インド ５ 西アジアと中央アジア　６ 北アフリカとサハラ以南アフリカ ７ EU 諸国　８ ロシア　９ アメリカ合衆国 10 ラテンアメリカ　11 オーストラリアとニュージーランド 持続可能な国土像の探究 １ 将来の国土の在り方	・世界の諸地域にみられる地域的特色や課題について理解する。 ・諸地域の結びつきや変容を地誌的に考察し、表現する。
３学期	２ 持続可能な日本の国土像の探究	・持続可能な社会を目指すために、望ましい国土の在り方について追究する。
備考（学習のポイント）	１　学習プリントはきちんと書き込み、積極的にメモ書きをしよう。 ２　家庭学習では、教科書・資料によく目を通して、学習の復習をしよう。 ３　地名などは地図帳を利用して、しっかりその位置を確認しよう。 ４　社会の動きに注目し、学習内容と世界の動向とを結びつけて考えよう。	

評価規準		
	知識・技能	世界の生活文化の多様性や、地理的課題を理解しているとともに、調査や資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	地理的な課題の解決に向けて考察したことを、効果的に説明できる。
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、地理に関わる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、学習プリント提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○学習プリント提出（授業中の取組や家庭での復習状況） ○授業態度（意欲的な態度、発表内容） ○課題提出（ワーク作業や長期休業中の課題など） ○定期考査（考査範囲の適切かつ計画的な学習成果）

地理歴史

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
日本史探究	４単位	普通科（Ｉ型）	３年

教 科 書	詳説日本史（山川出版社）	副 教 材	新詳日本史（浜島書店）

科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	第３部　近世 第８章　近世の幕開け 第９章　幕藩体制の成立と展開 第10章　幕藩体制の動揺 第４部　近代・現代 第11章　近世から近代へ　　第12章　近代国家の成立	・近世の政治・社会の展開を多面的・多角的に考察し、幕藩体制の確立や変化、近世の社会・文化の特色を理解する。
２学期	第13章　近代国家の展開　　第14章　近代の産業と生活 第15章　恐慌と第二次世界大戦 第16章　占領下の日本　　第17章　高度成長の時代 第18章　激動する世界と日本	・近現代の政治・社会の展開を多面的・多角的に考察し、近代国家の成立や諸外国との関係やその変容について理解する。
３学期	課題研究	・２年次からの学習を総括し、現代日本の課題形成に関する歴史について多面的・多角的に考察・理解して表現する。
備考（学習のポイント）	１　教科書をしっかり読み、ページ横の（注）の文章にも注意しよう。 ２　教科書に掲載されている図版や史料などにも目を通しておこう。 ３　語句や人名を単に覚えるのではなく、歴史の流れのなかで理解しよう。 ４　現代の日本の諸課題と結びつけて考えよう。	

評価規準	知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとしたり、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○授業態度（まじめな態度、発表内容） ○課題提出（長期休業中の課題など） ○定期考査（計画的な学習計画と成果）

数　学

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
数学Ⅲ・C	５・２単位	普通科（ＩＡ型）	３年

教 科 書	新編　数学Ⅲ（数研出版） 新編　数学C（数研出版）	副 教 材	クリアー数学Ⅲ・C　（数研出版）

科目の目標	ベクトル、複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
1学期	数学C 第１章　平面上のベクトル 第２章　空間ベクトル 数学Ⅲ 第１章　関数 第２章　極限 第３章　微分法 第４章　微分法の応用 数学C 第３章　複素数平面 第４章　式と曲線	・ベクトルを用いて、平面図形や空間図形・座標について考察を深める。 ・分数関数や無理関数等の関数について、グラフから特徴を捉える。 ・極限について、数列や関数へのつながりを理解する。 ・様々な関数についての微分法を学び、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。 ・複素数の定義を理解する。 ・２次曲線の基本的な性質や曲線がいろいろな式で表現できることを学ぶ。
2学期	数学Ⅲ 第５章　積分法とその応用 不定積分　定積分　積分法の応用 問題演習	・定積分についての内容を深め、区分求積法を利用した面積や回転体の体積を求めることができるようにする。
3学期	問題演習	・これまで学習した内容について総合的に考え、問題解決できるようにする。
備考（学習のポイント）	１　数学C と数学Ⅲ 第１章は、グラフや図形を基に問題を理解することが重要です。 ２　数学Ⅲ 第２章は、数列や様々な関数について、これまでの知識も問われます。 ３　数学Ⅲ 第３・４章について、公式だけでなく、微分の定義から理解していきましょう。 ４　数学Ⅲ 第５章について、数Ⅱで学んだことが前提になります。事前に復習しましょう。	

評価規準		
	知識・技能	基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解している。
	思考・判断・表現	式、図、表、グラフ等を用いて、様々な課題を数学的に捉え、数学的論拠に基づいて事象を的確に判断・表現し、考察している。
	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、問題解決において積極的に数学を活用している。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○○	○○	○○	○○	○○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、課題、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○　小テスト（単元毎の小テストなど） ○　課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）

数　学

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
数学Ⅱ・C	３・２単位	普通科（ＩＢ型）	３年

教 科 書	新編数学Ⅱ（数研出版） 新編数学Ｃ（数研出版）	副 教 材	クリアー数学Ⅱ＋B＋C[ベクトル](数研出版) 共通テスト対策数学重要問題演習（進研）

科目の目標	ベクトルについての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図る。 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	数学C 第１章　平面上のベクトル 第２章　空間ベクトル	・ベクトルを用いて、平面図形や空間図形・座標について考察を深める。
２学期	問題演習	・これまで学習した内容について総合的に考え、問題解決できるようにする。
３学期	問題演習	・これまで学習した内容について総合的に考え、問題解決できるようにする。
備考（学習のポイント）	１　第１章は、グラフや図形を基に問題を理解することが重要です。 　また、１年次に学んだ数学Ａの図形の性質を復習することで理解が深まります。 ２　第２章は平面のベクトルを理解しないとできません。 　第１章でベクトルの基本をしっかり理解しておくことが重要です。 ３　復習のときは、以前のノートや副教材を参考にしてください。 ４　問題演習では、何度も問題を解いて、解法を定着させてください。	

評価規準		
	知識・技能	・基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味を理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	・式、図、表、グラフ等を用いて、様々な課題を数学的に捉え、数学的論拠に基づいて事象を的確に判断・表現し、考察している。
	主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し、問題解決において積極的に数学を活用している。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○○	○○	○○	○○	○

評　価　方　法	期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○　小テスト（単元毎の小テストなど） ○　課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）

理　科

科　目　名	単　位　数	学　科	学　年
化学	４単位	普通科（ＩＡ型）	３年

教　科　書	化学　１理論編　２物質編 （東京書籍）	副　教　材	セミナー化学基礎・化学（第一学習社） スクエア最新図説化学(第一学習社)

科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、実験を通して化学的に現象の理解に取り組む能力と態度を育てると共に、基本的な概念や原理･法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

	学　習　項　目	学　習　の　ね　ら　い
１学期	４編　無機物質 ４章　遷移元素の単体と化合物 ５章　金属イオンの分離と確認 ５編　有機化合物 １章　有機化合物の特徴と確認　２章　炭化水素 ３章　アルコールと関連化合物　４章　芳香族化合物	・無機物質の特徴や性質について理解し、金属イオンの分離等を実験で確認する。 ・有機物質の特徴や性質について理解し、合成方法等を実験で確認する。
２学期	６編　高分子化合物 １章　高分子化合物とは何か ２章　天然高分子化合物 ３章　合成高分子化合物 ７編　化学が果たす役割	・物質の特徴や性質について実験で確認し、理解する。 ・高分子化合物の性質や特徴を理解する。 ・日常生活における高分子化合物の係わりを理解する。
３学期	問題演習	・入試へ向けて問題を解き、化学の知識を身に付ける。
備考（学習のポイント）	化学では身の回りの物質について学習します。そのためには日頃から身の回りの物質が持つ様々な性質に興味を持つことが大切です。また、実験や観察の結果から多くの法則を理解することになりますから、筋道立てて物事を考える力が必要になります。普段から論理的な文章を読んだり書いたりすることで論理的に物事を考える習慣を身に付けるようにしましょう。物質の様々な性質を、その構造から知ることもできます。	

評価の観点	知識・技能	・化学に興味を持ち、用語や現象等を正しく理解できているか。 ・学んだことを日常生活の物質や現象に結び付け考えようとしているか。
	思考・判断・表現	・学習したことを活用し、新しいことを考え、様々な場面で自分の言葉で表現することができるか
	主体的に学習に取り組む態度	・授業や実験の内容を理解し、主体的に参加できているか。

定期考査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○
評価方法	定期考査、問題集ノート提出、授業態度、実験態度等を総合的に評価する。 ○問題集ノート提出（正しく、すべて解けているか） ○授業態度（まじめな態度、積極的な発表ができているか） ○実験（意欲的な取組、実験結果の考察ができているか）				

理　科

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
生物	４単位	普通科（ＩＡ型）	３年

教 科 書	高等学校　生物（第一学習社）	副 教 材	リードα生物基礎・生物

科目の目標	生物とそれを取り巻く環境に対する関心を高め、自分のからだや自分の周りの環境について理解し、問題を意欲的に探究する活動を通して、規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	第３編　遺伝情報の発現と発生 第６章　遺伝子の発現調節と発生 第７章　遺伝子を扱う技術とその応用 第４編　生物の環境応答 第８章　動物の反応と行動	・遺伝子を扱う技術の原理を理解する。 ・活動電位が生じるしくみを、チャネルの働きとイオンの流れと関連づけて理解する。
２学期	第９章　植物の成長と環境応答 第５編　生態と環境 第10章　生態系のしくみと人間の関わり 演習	・植物ホルモンの特徴について理解する。 ・種間競争による競争的排除のしくみを理解する。
３学期	演習	・入試問題演習を通して受験対策を行う。
備考（学習のポイント）	１　遺伝子の発現調節と発生のしくみを学び、理解しよう。 ２　動物や植物の刺激への応答のしくみを理解しよう。 ３　言葉や現象についてよく理解し、文章で正確に表現できるようにしよう。 ４　表や図を見て、表現や理解ができるようにしよう。	

評価規準	知識・技能	・生物の内容を理解し、正しい知識で生命現象を説明することができるか。 ・顕微鏡観察や実験を、正しい手順で素早く行うことができるか。
	思考・判断・表現	・科学的知識のもとに、現象理解を行い表現することができるか。
	主体的に学習に取り組む態度	・主体的に生物に興味を持ち、内容の理解に努めているか。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度、実験態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表、ペアワーク・グループワークの態度） ○　小テスト（確認テストなど） ○　課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）

理　科

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
物理	４単位	普通科（ＩＡ型）	３年

教 科 書	総合物理１・２（数研出版）	副 教 材	実践アクセス　総合物理

科目の目標	物理学的に探究する能力と態度を身に付け、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、体系化された知識に基づいて自然の事物・現象を分析的、総合的に考察する能力を育成する。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	第４編　電気と磁気 第１章　電場 第２章　電流 第３章　電流と磁場 第４章　電磁誘導と電磁波	・キルッヒホッフの法則、電磁誘導の法則などを理解する。
２学期	第５編　原子 第１章　電子と光 第２章　原子と原子核 演習	・電子や光子の物理的な性質や原子物理の理論などを理解する。
３学期	演習	・入試問題演習を通して受験対策を行う。
備考（学習のポイント）	・物理では考えることが最も大切です。何事も突き詰めて考える態度で臨みましょう。 ・実験では結果はどうなるのか、自分でしっかり考えながら積極的に取り組みましょう。 ・公式や法則は暗記するのではなく、応用する力を持つことが必要です。教科書の問題や与えられた問題集は自分から進んで取り組みましょう。 ・物理では演習が大切です。授業以外でも演習に取り組み、知識を定着させましょう。	

評価規準	知識・技能	・物理の計算を理解し、各場面で応用できるか。 ・物理の基礎知識から物理の現象を理解できるか。
	思考・判断・表現	・正しい科学的考え方のもとに現象理解ができているか。
	主体的に学習に取り組む態度	・主体的に物理に興味を持ち、物理の内容の理解に努めているか。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（整理状況及び工夫の確認） ○　授業態度（教科に対して真摯で積極的か。） ○　課題提出（週末課題及び長期休業中の課題）

理　科

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
理科探究	３単位	普通科（ＩＢ型）	３年

教 科 書	野村高校　理科探究（野村高校理科）	副 教 材	チェック＆演習地学基礎(数研出版) チェック＆演習生物基礎(数研出版)

科目の目標	生物や生命現象、生活の中に隠れた物質の性質や変化などについて理解し、生物や地学分野における科学的思考力を高める。また、観察・実験を行い、実験技能を習得してその結果を考察する能力を育む。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	生物の特徴（生物の多様性と共通性、生物とエネルギー） 遺伝子とその働き （遺伝情報とＤＮＡ、遺伝情報とタンパク質の合成） ヒトのからだの調節（体内環境、体内環境の維持のしくみ、免疫） 活動する地球（地球の内部構造、プレート、地震、火山活動） 大気の構造（大気圏、対流圏、オゾン） 太陽放射と大気・海水の運動（太陽放射エネルギー、温室効果）	・生物の特徴や遺伝子の働きを理解する。 ・体内環境と恒常性について学ぶ。 ・地球の内部構造や地殻変動について理解する。 ・大気・海水の構造や太陽放射について理解する。
２学期	生物の多様性と生態系 （植生と遷移、バイオーム、生態系のバランスと保全） 移り変わる地球（地球の誕生、地球史） 演習	・気候とバイオームについて学ぶ。 ・太陽系の星の誕生について理解する。 ・地球誕生からの地球史を理解する。
３学期	演習	・入試問題演習を通して受験対策を行う。
備考（学習のポイント）	１　生物の特徴を知り、生物のからだや取り巻く環境について理解しよう。 ２　普段から地球上で起こる出来事に深く関心を持つようにしましょう。 ３　言葉や現象についてよく理解し、文章で正確に表現できるようにしよう。 ４　表や図を見て、表現や理解ができるようにしよう。	

評価規準		
	知識・技能	・内容を理解し、正しい知識で生命現象や化学的現象を説明することができるか。 ・顕微鏡観察や実験を、正しい手順で素早く行うことができるか。
	思考・判断・表現	・科学的知識のもとに、現象理解を行い表現することができるか。
	主体的に学習に取り組む態度	・主体的に生物・化学に興味を持ち、内容の理解に努めているか。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度、実験態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表、ペアワーク・グループワークの態度） ○　小テスト（確認テストなど） ○　課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）

保健体育

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
体　育	２単位	普通科（Ｉ型）	３年

教 科 書	新高等保健体育（大修館）	副 教 材	最新スポーツルール 2024（大修館）

科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	体つくり運動、集団行動、新体力テスト、陸上競技 球技Ｉ［個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法］ 【男子】【女子】（ソフトボール・バレーボール・ソフトテニス） 体育理論（生涯スポーツの見方・考え方）（ライフスタイルとスポーツの楽しみ方）	・自己の体力や生活に応じて取り組み、実生活に役立てる。 ・ペースの変化に対応するなどして走る。
２学期	体つくり運動 球技Ⅱ［個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法］ 【男子】【女子】（サッカー・バスケットボール・バドミントン） 体育理論（スポーツ推進のための施策と課題）（スポーツで「未来」を創る）	・作戦や状況に応じた技能や仲間と連携してゲームが展開できるようにする。
３学期	体つくり運動 球技Ⅲ［個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法］ 【男子】【女子】（バスケットボール・バレーボール・卓球）	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。
備考（学習のポイント）	１　自らの特性を生かしたり、伸ばしたりする上で、能力等に応じて運動を選び、その運動を得意にしていくなどして生涯スポーツの基礎づくりをしよう。 ２　集団としての行動を秩序正しく、能率的に行えるようにしよう。 ３　互いに協力して自己責任を果たそう。	

評価規準	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための倫理について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定					

評　価　方　法	授業態度、運動の技能、体育理論の理解度等を総合的に評価する。 ○　出席状況、授業態度・意欲（授業の参加状況、意欲的でまじめな態度） ○　運動の技能（各種運動の技能の習熟度、審判法の理解度） ○　体育理論の理解度（理解度の確認テスト）

外国語（英語）

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
英語コミュニケーションⅢ	４単位	普通科（Ｉ型）	３年

教 科 書	Grove　English Communication Ⅲ　（文英堂）	副 教 材	スクランブル 英文法・語法 Basic 英単語ターゲット 1900（旺文社）

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	Lesson 1　Fashion Revolution Lesson 2　The Custom of Food Samples Lesson 3　A Boy Who Inspired the World Lesson 4　Socotra: A Unique Island Lesson 5　No Meat on Monday Lesson 6　Bamboo Trains Lesson 7　Holiday Weight Gain Lesson 8　A Feathery Find in Amber	・関係代名詞の非制限的用法、省略表現、分詞構文、仮定法の願望表現、受身形、動名詞、同格を表す that、to-不定詞の表現、比較表現、助動詞+完了形、倒置表現、など
２学期	Lesson 9　Bed Nets for African Children Lesson 10　The Way You Look at a Problem Lesson 11　A Song for the Queen Lesson 12　Olympic Sports Come and Go Lesson 13　Audrey Tang: Not Just an IT Expert Lesson 14　Earth Hour Lesson 15　Creating a Bright Future Through Chocolate Lesson 16　Spot Fake News Lesson 17　The Sagrada Familia: A Spiritual Wonder Lesson 18　NASA's Hidden Treasures: Human Computers	・完了形、分詞の形容詞的用法、第４と第５文型の受動態、関係副詞、前置詞+関係代名詞、比較表現、形式主語構文、関係副詞、進行形、倒置表現、完了進行形、関係副詞の非制限的用法、仮定法を含む表現、付帯状況を表す前置詞の with、不定詞、など
３学期	Lesson 19　Why Can't You See It? Lesson 20　The Svalbard Global Seed Vault	・It is 形容詞／名詞 that 節、関係代名詞 what、助動詞を含む受け身、動名詞、など
備考（学習のポイント）	１　英語で表現しようとする積極的な態度を示し、習った表現を使えるようにする。 ２　速い英語の聞き取りに慣れ、つながる音、アクセント等に気をつけて発音する。 ３　高度な内容の読み取りに挑戦する。 ４　教科書の概要を簡単な英語や習った表現で再生する。	

評価規準		
	知識・技能	言語や運用についての知識を身に付け、背景にある文化を理解することができる。
	思考・判断・表現	話す・書く・聞く・読む活動を通して、情報や考えなどを適切に伝えたり、的確に理解したりすることができる。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、パフォーマンステスト、授業態度等を総合的に評価する。 ○　定期考査、小テスト等、提出物 ○　パフォーマンステスト（英語による各種活動） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な活動への取組）

外国語（英語）

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
論理・表現Ⅲ	２単位	普通科（Ｉ型）	３年

教 科 書	APPLAUSE　ENGLISH　LOGIC AND EXPRESSION Ⅲ（開隆堂）	副 教 材	Scramble Basic ラーナーズ高校英語

科目の目標	多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちを整理して、読み手や聞き手を説得できるように、論理の構成や展開を工夫しながら伝える能力を伸ばす。

	学　習　項　目	学　習　の　ね　ら　い
１学期	Lesson 1　What Are You Going to Do during the Golden Week Holidays? Lesson 2　What Do You Want to Do in the Future? Lesson 3　Suggest a New Style of Traveling Lesson 4　Communicating Your Requests Lesson 5　Thank You for Your Support	・予定・確信・希望表現 ・好き・嫌い・得意・不得意表現 ・提案・助言・勧誘表現 ・依頼・要請・許可表現 ・感謝・心配・懸念表現
２学期	Lesson 6　How to Complain Politely Lesson 7　My Specialty Lesson 8　My Special People and Places Lesson 9　Paragraph Writing Lesson 10　Presentation Lesson 11　Discussion	・苦情・謝罪・譲歩表現 ・時間的順序・方法・様態表現 ・描写・説明表現 ・共働きに関するパラグラフ作成 ・SNS に関するプレゼン ・介護ロボットに対する感想
３学期	Lesson 12　Debate	・ガソリン車の賛否に意見発表
備考（学習のポイント）	１　各レッスンの学習項目について感想や意見を英語で表現する。 ２　「学習のねらい」の文法を使って、身の回りのことを英語で表現する。 ３　プレゼンテーションやディベート、ディスカッションを通して、英語学習の楽しさを学ぶ。	

評価観点		
	知識・技能	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	思考・判断・表現	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。背景にある文化などを理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○
評　価　方　法	定期考査、ノートや課題の提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、挙手による積極的な発表） ○　小テスト、発表の内容と態度 ○　パフォーマンステスト				

外国語（英語）

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
総合英語Ⅰ	２単位	普通科（Ⅰ型文系）	３年

教 科 書	Across the Globe: Basic for Active Reading（数研出版）	副 教 材	ラーナーズ高校英語

科目の目標	世界の様々な話題に目を向け、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	Topic 1　Is Subculture Truly "Sub-" Culture? Topic 2　Why Not Try a Digital Detox? Topic 3　Food Dishes Into and Out of Japan Topic 4　Do You Believe in Fortune-telling?	・関係代名詞を使った説明 ・IT 用語 ・辞書に載っている日本語 ・比較・割合の表現
２学期	Topic 5　Sustainable Use of Tuna and Eel Topic 6　Is Space Exploration Worth the Cost? Topic 7　Are 24-hour Convenience Stores Really Necessary? Topic 8　Will Robots Brighten Our Future?	・時系列での説明 ・割合の表現 ・変化の表現 ・情報の読み取り
３学期	Topic 1～8 の復習	・各分野のキーワードや文法・構文を復習する。
備考（学習のポイント）	1　各テーマについて感想や意見を英語で表現する。 2　英語で表現しようとする積極的な態度で取り組み、習った表現を使えるようになる。	

評価規準	知識・技能	各テーマについて、情報を的確に収集し、背景にある文化なども理解している。
	思考・判断・表現	簡単な英語で情報や考えなどを理解し、相手に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	プレゼンテーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定		○		○	○

評　価　方　法	定期考査、パフォーマンステスト、授業態度等を総合的に評価する。 ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○　パフォーマンステスト（各テーマについてのプレゼンテーション） ○　定期考査、小テスト